

1 単元名 のこしたいもの、つたえたいもの
～大つ町に昔から伝わっている年中行事～

- 2 目標
地域に対する愛着を感じ、歴史を伝えるものを進んで調べようとする。
(関心・意欲・態度)
地域に残る年中行事に込められた地域の人々の願いを考えることができる。
(思考・判断)
調べてわかったことや感じたり考えたりしたことを、自分たちが選んだ表現方法でわかりやすくまとめ、発表することができる。
(技能・表現)
年中行事には、よりよい暮らしを願う人々の思いが込められていることを理解できる。
(知識・理解)

3 指導にあたって

本単元は、学習指導要領の第3学年及び第4学年内容(5)「地域の人々の生活について、次のことを見学、調査したり年表にまとめたりして調べ、人々の生活の変化や人々の願い、地域の人々の生活の向上に尽くした先人の働きや苦心を考えるようにする」とことと関連する。ここでは、地域に継承されている文化財や年中行事を取り上げ、地域の発展や人々のまとまりなどへの願いが込められていることを考え、人々の生き方に触れること、また、人々の生き方に触れることを通して、地域社会の一員としての自覚を高めることをねらいとする。

児童は、これまでにくらしの中の水に関心をもち、飲料水の確保の方法について、浄水場や浄化センターの見学・調査活動をしたり、グラフや地図などの資料を通して調べたりして、事業が組織的・計画的に行われていることを知り、まとめる学習を行ってきた。その結果、徐々に調べ方やまとめ方などの学習の仕方が身に付いてきた。また、読書活動で書き記した本の中から「すすめたい1さつの本」を友だちの前で発表したり、友だちから質問を受けたりする意見交流の場を行ってきた。この結果、自分の思いを「表現」し、友だちに「伝える」ことの楽しさを味わうことができた。一方、児童は、資料の内容や表現を具体的に読み取って吟味・検討したり、その妥当性や客観性、信頼性を自分なりに評価したり、自分の知識や経験と結び付け建設的に批判したりするという読みの力がまだ不十分であると考えられる。

そこで、本単元では地域の年中行事を教材化し、そこで努力している人材と触れ合う学習活動を展開することで、学習内容に関心をもたせ、社会的な事象の特色や意味について考える力を高めていく。また、地域研究をもとに作成したテキスト(自作資料)を学習前に配布し、これらの資料を学習の中で具体的に読んだり、教科書や副読本と比較し建設的に批判させたりする学習活動を通して、読みの力を向上させていきたい。さらに、学習計画表を活用しながら、全体の学習計画を見通したり、学習を振り返る活動を位置付けたりすることで、児童の学習問題に対する追究意欲を高め、学校と家庭との学びへの連続性を図っていく。学習形態では、グループや学級全体で、友だちに自分の考えを伝えたり、友だちの考えを聴いて考えたりする学び合いの学習活動を設定することで、社会的な見方や考え方を深め合わせたい。

以上のことから指導の重点を、次の、とする。

社会的な事象の特色や意味を考えるための、地域の教材と人材を生かした学習の展開

社会的な見方や考え方を深め合うための、学び合い活動の設定

4 学習計画(10時間取り扱い、本時は)

時	学習活動	評価の観点
1	資料をもとにきょう土に伝わる年中行事について考える。	・生活を振り返り、郷土の歴史を伝える年中行事に興味をもち、進んで調べようとする。 (社会的な事象への関心・意欲・態度)
2	学習ガイダンスを行い、学習計画をたてる。	・学習ガイダンス機能を利用して、この単元の学習問題や学習内容、学習方法について計画をたてようとする。 (社会的な事象への関心・意欲・態度)
3 4	よう・そろー(漁業歴史資料館)で、年中行事のねらいや人々の願いについて、見学や調査活動を行う。	・よう・そろーの見学を通して、町に伝わる年中行事のいわれやたずさわる人々の願いなどについて調べることができる。 (観察・資料活用の技能・表現)
5 8	調べたことを自分たちで決めた方法で、わかりやすくまとめ、発表する。 発表会を通して、町の年中行事には、よりよい暮らしを願う人々の思いが込められていることを理解する。	・よう・そろーを見学したり、家族や親戚などへの調査活動をしたりして分かったことを、新聞や図などにわかりやすくまとめ、発表することができる。 (観察・資料活用の技能・表現) ・町の年中行事には、よりよい暮らしを願う人々の思いが込められていることを理解できる。 (社会的な事象についての知識・理解)
10	町の年中行事を続けていくために、自分ができることを考える。 学習のまとめをする。	・町の年中行事を継承していくために自分ができることを考え、地域社会の一員としての自覚を高めることができる。 (社会的な思考・判断)

5 本時の学習

(1) 目標

さまざまな資料を活用したり，G Tの話の聞いたりしながら，町の年中行事を続けていくために自分ができることを考え，地域社会の一員としての自覚を高めることができる。(社会的な思考・判断)

(2) 資料・準備

学習計画表

掲示用パネル

テキスト(自作資料)

提示用パネル

パンフレット(施設で配布されたもの)

聞き取り・調査資料

(3) 展開

学習活動・内容	資料	支援(個への支援)と評価(評)
<p>1 今までの学習を振り返り，活動の見直しをもつ。 学習してきたことをもとに，本時の課題について話し合う。</p> <p>2 本時の課題を知る。 (1) 課題を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>大つ町の年中行事を続けていくために，わたしたちができることを考えよう。</p> </div> <p>(2) 自分ができることについて，自分の考えを書く。</p> <p>3 それぞれの自分の考えや資料などをもとに，自分たちでできることをグループで話し合う。 (1) 自分でできる方法について，グループで意見交換を行う。 (2) G Tの話の聞いて，もう一度自分でできることについて考える。</p> <p>4 グループの話し合いをもとに，自分たちでできることについて学級全体で発表し合い，個人の考えをまとめる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 10px 0;"> <div style="text-align: center;"> <p>お船祭を見に行ってみようかな!?</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>友だちや地域の人に祭りの呼びかけのポスターを作ってみたらどうだろう!</p>  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 10px 0;"> <div style="text-align: center;"> <p>じゃんがら念仏踊りに自分も参加してやってみようかな!?</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>盆船流しについて，もっと調べてみたいな!?</p> </div> </div> <p>学習したことを振り返るために，テキストやノート，板書事項などで見直しをし，学習計画表に記入する。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・今までの学習を振り返らせるために，学習してきた内容に関する資料をパネルで提示しておく。 ・今までの学習を振り返るために，前時に書いた子どもたちの年中行事に対する思いや不安を自由に発表するよう助言する。また，なぜそう思うのかという理由の視点まで確認する。 ・本時の課題に関心をもたせるために，ノートに課題を書かせ「大切な言葉」と「聞かれていること」を色分けして本時の課題を明確にする。 ・テキストや副読本の写真，自分が調べてきた資料，自分の生活体験をもとに，自分ができることについて自分の考えを気付きの欄に書くよう助言する。 ・児童が様々な視点から考え，たくさんの意見をもつために，自分の考えをもとにグループの中で意見交換をする。その際，なぜそう思うのかという理由の視点まで発表するよう助言する。 A児には，さまざまな考えを導かせるために，テキストにある資料や作成した資料などをパネルに提示しておく。 ・地域の人々の思いを再確認したり，自分たちの考えが実現できるかを確認したりするために，実際に祭りに関わっているG Tに机間指導や全体指導で話を聞けるようにする。 ・いろいろな視点で考えられるようにするため，グループの話し合いから学級全体の話し合いの場に切り替える。 考えがあるのに発表できないでいる児童には，意図的指名をしたり，考えを全体で紹介したりしながら全体の考えと関わり合えるようにする。 ・自分が具体的に取り組めることをノートにまとめるために，友だちの考えやG Tの話の参考にするよう助言する。 ・これからも町の年中行事は大切であり，継承していかなければいけないことを学級全体で確認する。 <p>(評)町の年中行事を継承していくために自分ができることを考え，地域社会の一員としての自覚を高めることができる。 (社会的な思考・判断) 【発表・ノート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習を振り返るために，テキストやノート，板書事項などを見たりしながら，学習計画表にわかったことや考えたことなどの記入を促す。

5 「のこしたいもの、つたえたいもの」

教科書下 74～83ページ
 希望にみちた北茨城 104～113ページ
 授業時数 10時間

4年	組	番	名前
----	---	---	----

学習のねらい

地いきにある歴史を伝えるものを大切にしようとする。

年中行事から、地いきの人々がどのような願いや思いをもって生活していたかについて考える。

地いきの年中行事について、調べてわかったことや感じたり考えたりしたことを、自分が考えた方法でわかりやすく表し、発表する。

地いきに残る年中行事には、歴史を伝えるものが多くあり、今も大切に伝えられていることを知る。

学習のめあて〔この学習でがんばりたいこと、できる(わかる)ようになりたいこと〕

時間	内容	学習をすること(調べること)	予習・復習をすること	ふりかえり
1	か も	資料をもとにきょう土に伝わる年中行事について考えよう。		
2	誦 しよう	学習計画をたてよう。		
3	調 べ よ う	「よう・そろー(漁業歴史資料館)」で、年中行事のねらいや人々の願いについて、見学や調べ活動をしよう。		
4		家族や親せき、近所の人などに、地いきに伝わる年中行事について願いや思いについて聞き取りをしよう。		
5	ま と め よ う	調べたことを新聞や図などに、わかりやすくまとめ、発表しよう。		
6		発表会を通して、年中行事への町の人々の思いを知ろう。		
7				
8				
9	ふ か め よ う	町の年中行事を続けていくために、自分ができることを考えよう。		
10		学習のまとめをしよう。		
		町の年中行事を続けていくために、地いき社会の一員として自分が考えたことを実せんしよう。		

学習を終えて

先生から